



主催・共催事業のご案内・ご報告

お申込・お問合せは、鍋島公民館 Tel 31-2984 まで

第2回鍋島養正塾～健康編～

鍋島まちづくり協議会共催

「聞こえにくい方の快適なコミュニケーションのために できること(加齢性難聴のお話)」

聞こえにくいまま放置しておくことは、周囲から孤立しやすく、認知症のリスクを高めます。
「年のせい」とあきらめないで、周りとのコミュニケーションをとるための環境作りや対策を学びましょう。

日時 6月27日(火) 10:00～11:30

場所 鍋島公民館 集会室

内容 加齢性難聴とは? 補聴器について 聞こえにくい方と接する際の対応、環境調整のポイントなど
※講座終了後、希望者には簡単な「聴力測定」体験があります。(人数に限りがあります。)

講師 佐賀県聴覚障害者サポートセンター

対象 どなたでも(鍋島校区の方優先)

定員 30名程度 **参加費** 無料

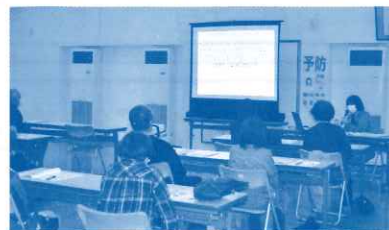
申込方法 平日9時～17時 電話・来館にて

しめきり 6月16日(金)



第1回鍋島養正塾～健康編～「認知症を疑ったら知っておくべきこと」4月25日(火)

おたっしや本舗鍋島の實松礼子さんを講師に迎え、認知症と疑われる症状が発生した場合に、どのような対処をすればよいのか、認知症ケアパスを基に、お話をいただきました。認知症は特別なものではなく、誰でもなる可能性のある病気です。そして周囲の理解と早期の対処で、重症化を遅らせ、普段の生活を続けることができます。認知症と上手に付き合いながら、地域でいつまでもいきいきと生活していきたいものです。



地域団体等事業のご報告

鍋島校区青少健・子ども会

鍋っ子お別れ会 3月12日(日)

毎回多くの子ども達が参加する「鍋っ子お別れ会」、今年は182名の親子が参加しました。まず鍋島公民館から多布施川河畔公園までみんなで歩き、その後、グラウンドゴルフやペタンクなどの4種類のゲームを楽しみました。参加者は広々とした公園で、友だちと楽しい時間を過ごしたようです。



鍋島郷友会・鍋島開成遺族会

鍋島開成校区慰霊祭 3月26日(日)

鍋島開成校区の戦没者の慰霊顕彰と、平和の尊さを伝え続けていくため、慰霊祭が行われました。当日はあいにくの小雨まじりの肌寒い天候でしたが、60余名の方が参列されました。



佐賀市の人口 228,634人 鍋島校区の人口 12,691人 世帯数: 5,786世帯(令和5年4月末現在)

令和5年度 鍋島校区自治会長の皆さん

◎会長 ○副会長 （敬称略）

	自治会名	会長名
	角目	久野 晴丘
	森田	池田 正
	西新庄	副島 市郎
	東新庄	高取 宏行
	江里桜	西村 正敏
	木ノ角	江口 正之
	鍋島	今泉 博雅
	鍋島五丁目	山城 恭子
	増田	雪竹 東
○	植木	新ヶ江 一男
	津留	雪竹 義雄
	蛸久	岡村 平四郎
	岸川	藤本 慶子
	植木団地	堀江 雅智
	佐大鍋島宿舎	許斐 博
○	医大北	森田 昭
	医大東	瀬戸 邦聰
	医大西団地	中島 日登美
◎	医大南	飛石 昇
	市営鍋島西団地	川副 真奈美
	パークサイド	眞子 健治
	鍋島一丁目	右近 龍也

多様なプログラムで観客を魅了!

鍋島中学校吹奏楽部 第22回定期演奏会 3月30日(木)

1年間の活動の集大成として、佐賀市文化会館中ホールで演奏会が開催されました。当日はクラシック、バラエティ、ポピュラーの3部のステージで構成され、迫力と楽しさ満載の演奏会となりました。これからも中学生の活動を皆さんで応援していきましょう。



鍋島公民館新職員紹介

令和5年4月より鍋島公民館に勤務となりました。少しでも早く仕事に慣れて地域のみなさんと協力して親しみのある公民館にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



富吉 豊

インターネットでも予約ができます。
公民館予約システムはこちらから↓



私たちの「鍋島」はどんなところ? ~鍋島豆知識~

私たちが住んでいる「鍋島」の姿をいろんな角度から見てみましょう。自分が住んでいるまちの新たな発見があるかもしれません。

人口は…佐賀市で3番目に多い校区です。【12,689人(R5.3末現在)】 ※1 兵庫 2 高木瀬

小学校児童数は…人口と同じように佐賀市で3番目に多いマンモス小学校です。【816人(R5.4.1現在)】

※1 兵庫 2 高木瀬(順位はR4.5.1現在)

高齢化率は…佐賀市で兵庫に次ぐ2番目の低さです。【19.8%(R3年度高齢者実態調査より)】

しかし人口に対する割合は小さくても、2,528人もの高齢者がいらっしやいます。そのうち57.5%の方が高齢者のみで生活されています。

鍋島公民館利用者数は…昨年(R4年度)約14,000人(延べ人数)の方が利用されました。これは鍋島校区すべての人が1回以上利用した計算になります。

鍋島家発祥の地…鍋島家の始祖、長岡経秀がその子経直と共に山城国(現京都)から鍋島に移り、住居(館)を築いたことから、鍋島の姓を名乗るようになりました。その住居跡は「御館(おたち)の森」として鍋島本村に石碑が建てられています。(参考:ふるさと鍋島/H29鍋島公民館発行)

鍋島の別称「養正」…かつて鍋島には、鍋島小学校の前身である養正小学校(明治15年設立)がありました。この「養正」という言葉は古代中国の書物である「易経」から取られ、教育の基本となる教えを表したものです。「養正」は「養正ふれあいまつり」や公民館講座「鍋島養正塾」など、鍋島を表す言葉として今もなお残っています。